

令和7年度当初予算への要望

【地域要望】

令和6年8月23日

豊田市議会自民クラブ議員団

○豊田市議会自民クラブ議員団 令和7年度当初予算への要望一覧

【挙母地区】

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
1	継続	崇化館	豊田市駅東口及び西口拠点施設の整備	豊田市駅周辺は、様々な集客施設が有り、多くの人達の笑顔や楽しい会話が聞こえる。賑わいや魅力的な空間が広がる広場を含む駅東口整備は集客力、滞在時間や癒しのオアシス空間としての意義が有り、イベント、祭り等、多様な活用が生まれる事が期待される。加えて、西口でのバスターミナルやペDESTリアンデッキ等の再整備の工夫により、豊田市の独自性を生かした新たな、都市空間の創出を行い、現在進行中の整備における、歩行者動線はフェンスで囲まれ通勤、通学や利用する人たち、特にイベント時の歩行者の安全管理を徹底し、また景観や明るい雰囲気づくりを要望する。
2	継続	崇化館	名鉄豊田市駅舎の改修整備	豊田市駅舎は1986年に開設され、朝夕時の混雑は大変厳しく、特に各種イベント、祭りやスポーツ開催時は階段等に乗降客が溢れ、大変危険な現在である為、北改札口の新設等人の流れの安全円滑化の促進、また清潔な大きいトイレの整備、2026年アジア競技大会、2027年リニア中央新幹線の開業を見据え、駅利用者、来訪者等、利便性向上及び42万人都市の玄関口としての顔に相応する駅舎改修整備を要望する。
3	継続	崇化館	中心市街地活気ある事業所対策	アフターコロナでの、来訪者や消費者が徐々に回復しているが、新たに物価高騰や消費者の行動変容・働き方改革など、事業者は厳しい時代を乗り越えて健全な経営努力をしている。個店の体力は回復しておらず、引き続き今後、好循環につなげる更なる取り組みを実施し、また、高齢化・後継者不足と重なり、空き店舗増加の懸念が有り、現在再整備の中、景観・衛生・治安低下など誘発を是正する意味でも更なる商業活性化プランなどの活用を要望する。

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
4	継続	崇化館	駅前総合観光拠点施設の新設	これからの観光交流事業は多くの産業に波及効果や雇用効果等を創出する産業である。本市の観光資源は誇るべく極めて豊富であり、観光振興を通じ地域経済の活性化に寄与する。観光地・土産・イベント宿泊所幹旋・飲食店情報等を考慮すると、現ウエルカムセンターn6では手狭であり、情報発信の限界等考えられ、新に豊田市駅前での魅力創出で観光地域や営業店当に貢献できるシステムの総合観光案内所の設置を要望する。
5	継続	崇化館	災害時での被害者及び帰宅困難者緊急避難対応	近年、気象異常や温暖化などでの大雨災害の懸念が高くなり、中心市街地は全て冠水の恐れがある。各自治区や地域部会ではマイタイムラインなどを勉強し、避難訓練も行っている。また、一時避難場所を考慮する場合、被害者及び帰宅困難者等をどの様に避難するかは行政・立体駐車場・商業施設・コミュニティ始め自治区や商店街等の協定での救済が必至であり、災害に強く対応出来る組織連携を構築して、必要な整備や備蓄など対応を要望する。
6	継続	梅坪台	上豊田駅周辺区画整理事業の迅速で円滑な実施	上豊田駅は、鉄道、おいでんバス(藤岡・豊田線、さなげ・足助線)、パークアンドライド利用の自動車等の交通結節点であり、周辺では都市計画道路浄水駅北通り線・西山上挙母線・豊田北バイパスの整備が進められている中、地元では令和5年度末に区画整理の仮同意率が9割を超え、組合設立に向けた発起人会が立ち上がった。こうした状況を踏まえ、区画整理事業の早期実施に向けた人及び予算の確保と技術的な支援を要望する。
7	新規	浄水	浄水駅北通り線整備事業の推進と向山団地の生活道路計画の策定	都市計画道路浄水駅北通り線の整備にあたっては、4車線化により団地内への出入りが制限される向山団地の生活道路の整備が必須である。また、隣接する上豊田駅周辺では、区画整理事業の実施に向けた調査が進められようとしている。したがって、早急に区画整理の計画とも整合がとれる団地の生活道路計画の策定が必要であり、そのための人及び予算確保を要望する。

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
8	継続	浄水	人口増加に対応した安全・安心なまちづくりに向けた地域防犯力の強化	浄水地区は、区画整理事業の進展により人口が急増しており、浄水中学校区の人口は1万5千人を超え、現在も増え続けている。こうした状況の中、安全・安心なまちづくりに向けた地域防犯力の強化が求められている。交番の設置については引き続き愛知県警察への要望をお願いするとともに、自治体が運営する防災活動拠点となる安全・安心ステーションの設置を要望する。
9	新規	梅坪台	豊田南北バイパスの整備に合わせた地区内生活道路の整備	令和8年度末に予定されている豊田南バイパスの暫定供用時には、浄水地区や梅坪台地区の生活道路への通過交通の侵入が懸念される。また、現在計画が進んでいる豊田北バイパスの整備に合わせて地域の安全で安心な生活道路を整備する必要があり、そのための予算の確保を要望する。
10	継続	梅坪台	籠川、伊保川の災害発生防止のための維持管理と環境整備	籠川流域（矢作川合流点から伊保川合流点）及び伊保川における樹木伐採、土砂堆積等の流下阻害に対応した維持管理の継続と、地域で機運が高まっている環境保全活動への支援を要望する。また、籠川緑地の豊田北バイパス南近接地の早期整備を要望する。
11	継続	朝日丘	毘森公園整備	①毘森公園の再整備の在り方を早期に検討するための予算確保。 ②公園内の歩道・車道の修繕、枝下用水周辺の安全対策及び公園未供用区域を含む樹木竹林の整備。

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
12	継続	朝日丘	県道豊田東郷線 「小坂本町1丁目西」交差点から「宮上町1丁目」交差点間整備	県道豊田東郷線（都市計画東郷豊田）は幅員約10mと狭く現在大型車両のすれ違いが難しく対面車同士の事故も発生するなど車道歩道ともに通行において非常に危険な状態であり早期の道路拡幅工事の要望する。
13	継続	朝日丘	市道小坂三軒2号線改良の早期事業化	市道小坂三軒2号線は衣丘小学校北西角から市道三軒家八ツ迫線までの区間で挙母揚水跡地である。当地域は朝夕近隣道路から多数の通り抜け車両があり危険性が高い。小中学生の通学路の安全性確保のため早期の事業化が望まれる。幅員確保ができず市道開設が困難となった場合は自転車歩行者専用道として整備をすることを要望する。
14	新規	朝日丘	市道櫛通り線整備	小坂本町区間における市道櫛通り線は従来より豊田市駅西口道路の中心的な役割を果たしているが、今後駅西口バスターミナル集中、新博物館建設による歩行者導線利用など更なる利用拡大が見込まれている。歩道のバリアフリー化、無電柱化などを含めた全体の整備を要望する。
15	新規	朝日丘	金谷町7丁目の洪水対策	豪雨が発生する度に道路が浸水するため、帰宅ができない民家や、保護者が送迎できなくなるこども園があるため、排水路の早期整備を求める。

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
16	継続	朝日丘	小川町2丁目北側と豊田段ボール倉庫東側間の狭小道路改修	この区間の道路は普通乗用車1台分の余地しかなく、対向車はもちろん自転車とのすれ違いもできず、接触事故も起きているので、早急の整備が必要である。
17	継続	朝日丘	市道青木新生線の歩道設置を含む道路拡張	市道青木新生線（枝下用水～小坂若林線）の約270m区間は車両の交通量も多く、自転車・歩行者との接触事故が懸念されるため、安全な通行空間の確保と歩道設置を要望する。
18	継続	逢妻	市道豊田西部線のみよし市との早期開通	豊田市内とみよし市三好丘を結ぶ市道福谷一色線は、交通量が多く、幅員も狭いため、大変危険である。交通を転換し、危険を解消するため、令和8年度に開通予定と公表された国道155号豊田南バイパスに接続する「市道豊田西部2号線」久岡町から三好丘間の早期整備を求める。
19	継続	逢妻	南バイパス開通による通学路整備	現在、南バイパス工事が進められているが、開通により地区内の通学路が変更になったり、通過車両の量の増減が予想される。バイパス開通8年度開通に合わせた通学路の安全対策を求める。

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
20	継続	逢妻	本地柿本線の拡張	柿本町2丁目交差点付近は道路幅員が極端に狭く、西側（柿本ゆずりあい橋～市道四ツ家神田線交差点付近）においても同様に狭く、大規模自動車工場への通勤車両や通学生徒の通学路でもあり大変危険である。よって、早期の改修を求める。
21	継続	逢妻	柿本2丁目～東新町5丁目交差点間の通学路整備	当該区間は、逢妻中学校生徒の内、約半数の400名生徒が通学路であり、また、大規模医自動車工場や大型スーパーのため、終日通過車両が多い区間であるが、歩道が十分に設置できていないため大変危険である。よって、早期の歩道設置を求める。
22	継続	逢妻	東新町3丁目の排水路整備	大雨の度に、雨水が歩道に溢れ、通学の児童は池のようになった道路を登校し、付近の個人宅にも雨水が進入し、住民自ら土嚢を組み対応しているのが常態化している。早期の対策が必要である。
23	継続	豊南	河合町1丁目交差点のスクランブル交差点化	河合町1丁目の交差点は、1日中車と歩行者の交通量が多く、特に子どもたちの登下校の安全見守りの重点場所となっている。子供たちが集団で渡るため、右折左折の車のスムーズな通行が妨げられ渋滞を引き起こしている。この渋滞と歩行者の安全性の解消のためスクランブル交差点になるよう要望する。

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
24	継続	豊南	豊栄河合線に押しボタン式横断歩道の新設	現在、大勢の高齢者の方が朝夕の散歩の方々が豊栄河合線を横断している。河合池マレットゴルフ場に向かう高齢者の横断が多く、将来交通量が増えてくることが想定され、非常に危険と危惧される。是非押しボタン式横断歩道の設置を要望する。
25	継続	豊南	安永川改修事業に伴う公園整備等	安永川改修事業は、国県市事業であり、市街地の排水を一手に受ける河川事業である。この事業が完成し、地域の環境は大きく変わり、交通渋滞や違法駐車などが予想される。こうしたことを解消するため、また安永川改修事業を広く市民に知っていただけるよう、明治用水と新安永川の区切られた区域を公園等に整備することによって、より安全安心な環境が整う。

【高橋地区】

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
26	継続	高橋	県道則定線と市道高橋1号線への接道へ信号機交差点設置の確定	<p>県道豊田則定線は令和3年度より4車線化事業が行われており、令和5年度以降内環状線までの4車線化の事業化が予定されている。事業と並行して中央分離帯が設置される事で高橋自治区の住民が分断されてしまう為、市道高橋1号線と県道豊田則定線との接道へ信号機交差点の設置を強く要望する。区画整理事業を進めて行く上で平成14年から始まった住民説明会からも強く要望され、その上で区画整理事業に同意し、現在の市道高橋1号線はその為に拡張をした経緯も有る。現在は暫定的な交差点となっているが、交差点設置の確定を要望。</p> <p>自民クラブ地域要望としては引続きの継続要望であり、令和2年7月27日以降八木哲也代議士・鈴木雅博元県議会議員・岩田淳市議とで愛知県警察本部・交通部長石川智之警視長へ請願書として提出済の為、その後の対応及び回答を要望。令和5年10月6日には再度、愛知県都市交通局へ3議員で出向き要望活動及び状況を確認。今年度も引き続き要望活動を実施して行くが、工事に伴い動きがあるようだが要望確認をする。</p>
27	継続	高橋	平井小学校体育館を緊急避難場所及び避難所指定可能とする整備と関連する市道岩滝～百々線の延伸整備及び消防団詰所土地の確保	<p>平井小学校体育館は体育館北側が土砂災害警戒区域指定がされているため、緊急避難場所及び避難所指定がされておらず、災害時には体育館の使用ができない状況である。本来なら愛知県が整備を進めなければならないが愛知県の整備条件から外れているため、豊田市として整備を進め土砂災害区域指定を外し避難所指定にすることを要望する。愛知県からの回答は既に説明済。高橋区長会（15自治区）として要望書も提出済。</p> <p>（建設部・教育部・防災対策課が同席）</p> <p>また、土砂災害区域となっている急傾斜地は現在、市道延伸が計画されている市道岩滝～百々線の道路法面であるが、市道延伸事業の時期及び状況と延伸事業と合わせて余剰地を利用して平井町・百々町地区の消防団詰所土地の確保を要望。</p>

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
28	継続	高橋	県道豊田則定線・高橋1号線交差部から高橋2丁目交差点～内・外環状線までの4車線化	寺部区画整理事業を終え、継続して要望課題として上げている高橋～県道豊田則定線の4車線化は高橋1号線までとなっており、その先の高橋2丁目交差点までの約210m及び内環状線～外環状線までの4車線化の計画に伴い、まちづくりの観点から寺部区画整理事業は一区切りを終えたが、引続き4車線道路計画の目途をつけて頂くよう要望する。
29	継続	高橋	県道487号線・中金～古瀬間線の拡充（県道松平志賀中金線拡幅）	矢並線～山中町間の県道487号線の一部道路舗装整備は、平成28年度より進んでいるが未実施の道路整備補修を要望。矢並線～山中町間の通学路確保と車両交通事故防止の為、道路拡幅・拡充を計画的な方向性を作成し要望する。
30	新規	高橋	鞍ヶ池公園第2期整備事業（駐車場棟）及び動物園の活性化・鞍ヶ池公園周辺の地縁団体の保有する有効な土地利用活用（交通公園前）	<p>鞍ヶ池公園はリニューアルを終え、豊田市を代表する全国から約150万人の来訪者が訪れる公園となっているが、公園内に設置されている動物園には来訪者が約3万人～状況であるため、市の保有する財産を活かすためにも動物園の活性化を要望する。令和5年10月29日には豊田青年会議所が鞍ヶ池公園でイベントを行い、動物園に新たな動物を招致するアンケート及び要望書が我々に提出されている。</p> <p>また、鞍ヶ池公園第二期整備事業が頓挫しており、公園周辺（池田自治区・区民）の保有する土地利用を公園駐車場・ラリー等を始めとした利活用を要望する。既に池田自治区内では令和2年度より豊田東部まちづくり協議会が発足され、集団移転事業等に関して企画政策部・都市計画課へ要望を行い、地域住民との意見交換も行ってきた。池田自治区内が保有する地縁団体の土地について、市による有効利用を要望する。</p>

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
31	継続	美里	第2期中央公園整備	アジア競技大会に向けて先行整備区域の基盤造成工事が始まった。今後は、次期整備区域の調査を早期に推進し用地買収を要望する。
32	継続	美里	県道細川豊田線の拡幅・改修	いよいよ北側から野見児童館までの歩道が完成し、通学路が完成する。今後は、鶉の首開削事業も本格化するため、更に工事車両等が増加する事が懸念される。野見児童館から南側の用地買収の強化をし、早期に道路拡幅と歩道新設を含めた拡幅・改修の整備を要望する。
33	継続	美里	市道御立野見1号線の拡幅・歩道整備	高橋細谷線の4車線化整備に伴ない交通量が増加傾向にある中で、豊田東高校から南側の一部の区間が完成した。今後も引き続き市道御立野見1号線の拡幅・歩道整備の早期完成を要望する。
34	継続	美里	東部1号線から高上東山線のバリアフリー化整備	東部1号線から高上東山線の歩道は、浸水性の高い舗装の箇所があり表面の劣化が進んでいる。道路面との段差もあり、カーブが続くエリアでは、歩行者が歩行するのに転倒しやすく、危険がある。通学路にもなっており早期に道路面との段差を解消し、安全に歩行できるバリアフリー化整備を要望する。

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
35	新規	美里	鵜の首狭窄部整備及び鵜の首橋の付替え	東海豪雨級の洪水を安全に流せるように国が矢作川整備計画を策定し整備を進めている。矢作川が狭く蛇行している為に、中流域の豊田市中心部を脅かしている「鵜の首狭窄部」の早期完成を要望する。また、鵜の首橋を相互交通できるように整備すると共に、現状の交通量の調査を要望する。
36	継続	益富	国道301号線整備（益富拡幅）に伴う関連市道の整備	2021年に事業着手し総事業費30億円の事業概要が発表され、主要道路である国道301号4車線化が推進されている。用地測量を行い、道路詳細設計も進んでいる中、早期に用地買収を要望する。また、関連市道の調査を進めるとともに、地域から提出された要望事項について推進して頂くことを要望する。
37	継続	益富	志賀郷中線の交差点改良	志賀中郷線と上野大見線のT字路の交差点では、鋭角に接続しているため、事故が多発している。また、近くに古瀬間小学校があり、通学路になっている地域の生活道路だが、朝夕の交通量も増加している。交差点改良を含めて整備を要望する。
38	新規	益富	榎尾川の整備	泉町付近の榎尾川が、大雨によって越水し、駐車場全体が水たまりとなる被害があった。今後の集中豪雨に対する浸水対策を要望する。

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
39	継続	益富	浜居場住宅の建て替え整備	平成21年より入居者を止めている中で、建て替えの明確な方針が決まっていない。国道301号の四車線化に伴い歩道整備が計画されているため、今後の国の整備と共に浜居場住宅の建て替えを要望する。
40	継続	益富	五ヶ丘地区の遊歩道整備	五ヶ丘には生活道路を走る車との接触が極力無い様に遊歩道整備がされているが、五ヶ丘団地が完成してから35年が経過し、遊歩道に亀裂やひび割れ、根上り等が多くみられるようになった。遊歩道を歩く市民も高齢化が進んでいる地域であり、安全に散歩が出来るように遊歩道整備を要望する。（五ヶ丘公園内も含む）

【上郷地区】

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
41	継続	末野原	三河豊田駅前広場の改修	時代の経過とともに、駅前広場としての機能を低下している。そこで、地元住民による「三河豊田駅駅前広場再生協議会」が設立され、地域住民が憩え、時代に合った交通結節点機能を備えた駅前広場に全面改修することを要望する。
42	継続	末野原	県道本地鷺鴨線大林町12丁目交差点の建物撤去	県道本地鷺鴨線大林町12丁目交差点に屋台の店舗が4軒あり、営業を行っている形跡がなく、建物も老朽化し、防犯上・防火上そして環境的にも問題がある。特定空家とうに該当するか調査をお願いするとともに、土地の管理者である愛知県に対し早期撤去を市からも強く要望していただきたい。
43	新規	末野原	大林こども園 進入路の拡幅	園児の朝夕の送迎において、こども園の進入路が狭く、過去に接触事故も起きており、早急に改善する必要がある。
44	新規	末野原	山之手こども園の保育所化	山之手こども園は公立の幼稚園として、4歳児・5歳児の幼児が通園している。保育需要の高い乳幼児及び3歳児へ対応ができていない。また、山之手地区はマンション建設も多く、地域住民から乳幼児及び3歳児への保育の希望が多い。

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
45	継続	末野原	明治用水暗渠化と上部利用及び周辺整備（鴛鴨町他）	安城台地を潤すべく明治に開削された明治用水の上部利用については、広美町の三連水車下流で公園やウォーキング道の整備が進められてきたが、末野原地域の渡刈・鴛鴨・永覚の各自治区内は整備されていない。したがって、国・県に働きかけて国営矢作川総合第2期地区の計画工事の推進を図りつつ、県・市による自転車道・歩道及び交差する市道・橋梁を含めて環境にも配慮した地域要望を取り入れた上部利用及び周辺整備を要望する。
46	新規	末野原	愛知環状鉄道永覚駅へのアクセス道路整備（永覚町）	永覚駅南側及び北側道路は狭小かつ暗いため、電車利用の歩行者や自転車にとって極めて危険な道路となっている。また、駅に送迎する車両を含め、通行量も少なくないことから車両がすれ違いもできず交通支障となっている。安全で利便性の高い生活道路確保のため、駅へのアクセス道路整備を要望する。
47	継続	末野原	渡刈町内の宝蔵川周辺の法面・護岸拡幅等工事による住宅地・田畑等の早急な浸水防止対策他	渡刈町地内の宝蔵川周辺の集中豪雨時の住宅地・田畑等の早急な浸水防止の護岸拡幅等工事の実施を要望する。
48	継続	末野原	家下川の川幅拡張等による、集中豪雨時の住宅地・田畑等の早急な浸水防止対策	家下川と明治用水の交差する部分は川幅が狭く、集中豪雨時には、排水できず上流の住宅地・田畑等の浸水が予想されるため、拡張工事等の早急な浸水防止対策を要望する。

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
49	継続	末野原	県道本地鴛鴨線（（都）大林榊塚線）未整備区間の事業化による歩道整備	県道本地鴛鴨線（（都）大林榊塚線）は、鴛鴨町上大咀付近において未整備区間がある。また、西側に水路が並走するこの未整備区間は、歩道の連続性が確保されておらず、安全確保が不十分な状況となっている。歩道の連続性の確保とともに、未整備区間の早期事業化について要望する。
50	継続	上郷	三河上郷駅を中心とした街の賑わい創出	都市計画マスタープランにて三河上郷駅は「拠点地域核」の一つとして位置付けられているが、駅までの交通手段が乏しく利用者は伸びず、駅舎のバリアフリー化や駅前整備も進まない状況。また経営者の高齢化や後継者不足が深刻で、自治区内では商店や飲食店の閉店が加速。街の賑わいとは程遠く、高齢の買い物弱者も増加の一途である。商業施設や飲食店などの誘致、駅までの交通手段整備など、駅利用者を増やし街を活性化させる施策を要望する。
51	継続	上郷	榊塚西町自治区 公園の新設および駐車スペース整備	1, 200世帯/3, 200人が暮らす自治区に対し、公園が一箇所しかない(ふれあい広場)。子どもの遊び場や地域の人たちの憩いの場としてだけでなく、災害時や緊急時の避難場所としての機能も果たす重要な施設である公園の建設を要望する。 また、備品や物資運搬に必要な車両駐車場の整備も併せて要望する。
52	新規	上郷	市道中和会榊塚線 通学路における安全対策	当該箇所は和会町山根にある住宅密集地から高嶺小学校正門までの市道であり、自治区在住の小中学生が通学路として歩道を利用している。 通学時間帯は通勤車両などの抜け道となっているため通過車両が多いがガードレールがなく、子どもの通学時の安全確保の観点から、早期に歩道と車道を完全に分断するガードレールの整備を要望する。 (令和6年5月17日、自治区代表と市による現場確認を実施)

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
53	継続	上郷	福受町地内 交通量抑制のための通行規制実現	<p>県道豊田安城線が福受町地内で渋滞するため、朝晩の通勤時間帯を中心に福受町を南北に走る生活道路を抜け道として通過する車両が多く、地域問題となっている。</p> <p>県道豊田安城線は拡幅工事事業化が決定し、工事中は規制回避のため同町内を抜け道として通過する車がさらに増えることが推定される。郷内の生活道路はすれ違いが困難な道幅なうえ、朝晩は小中学生の通学路でもあり、地域住民の安全や騒音低減の観点から、抜け道として利用する車両に対する通行規制や安全対策を要望する。</p>
54	新規	上郷	広美町中之切交差点 歩行者用信号機設置	<p>本交差点は広美町の中心に位置し、高嶺小学校や上郷中学校へ通う子ども達の通学路でもあるが、朝晩は交通量も多い。</p> <p>地域の方々による通学時間帯の見守り活動も実施しているが、交差点の大きさの割に歩行者用の信号機が無いため、子どもが交差点横断中に信号が赤に変わってしまう事象が頻発し大変危険な状態である。以前から歩行者の安全確保のため歩行者用信号機の設置を要望しているが、進捗について報告をお願いする。</p>
55	継続	上郷	柳川瀬公園の拡充整備	<p>①全体施設を見直し、防災機能や世代間交流など多様なニーズに対応</p> <p>②老朽化した体育館の改修</p> <p>③豊寿園の移転受け入れ、高齢者の健康づくり</p>
56	継続	上郷	市道畝部小学校東線の整備	<p>県道岡崎豊明線から畝部小学校（指定避難所）まで大型消防車、バス、災害支援物資輸送車等の大型車が安全に通行できるよう拡幅。</p>

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
57	継続	上郷	愛環北野柵塚駅周辺整備	<ul style="list-style-type: none"> ① 駅ロータリーの設置 ② 駐車場整備 ③ 駅周辺の道路整備 ④ 宅地開発（一期工事は実施済み。2期工事に向けて）
58	継続	上郷	市道広美柵塚線の整備／柵塚東町	<ul style="list-style-type: none"> ① 拡幅整備及び、市道のT字交差点の改良 ② 市道広美柵塚線と市道東柵塚郷東線を結ぶ ③ 市道東柵塚東線を延伸し、柳川瀬公園まで結ぶ

【高岡地区】

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
59	継続	竜神	名鉄三河線竹村駅の利便性の向上と踏切の渋滞対策	現在竹村駅は、駅前のスペースも少なく、特に雨天時には、送迎の車の出入りで、その混雑はたいへん危険な状態となっている。名鉄三河線の複線化にあわせ、乗降客の利便性の向上と安全対策、そして踏切の渋滞対策を要望する。
60	継続	竜神	竹村小学校区の公共交通機関の空白地域の解消	竹村小学校区は、名鉄三河線竹村駅はあるものの、公共交通機関の空白地がある。高齢化により運転免許証を返納する高齢者が増加する中で、病院や商業施設に通う自家用車に代わる日常的な足を確保する必要がある。地域バスや、デマンド交通など多様な制度を活用した、公共交通システムの導入を要望する。
61	継続	高岡	都市計画道路の事業化	若林地区内にある都市計画道路の全線早期事業化を要望する。 現在、若林駅周辺では土地区画整理事業の計画が進められているが、土地区画整理事業予定地区内の都市計画道路はその事業の一部として、また線路より東側のみが事業化の予定されているだけで全線を事業化する予定がない。 特に、名鉄三河線若林駅付近連続立体交差事業が予定どおり進んでいる現在、想定されていたとおり周辺渋滞を避けたり、近道をするために多くの通過車両が進入しており、周辺には小中学校の通学路もあり交通安全上非常に危険である。 また、将来に向けて若林駅を中心とした拠点地区周辺での都市計画道路の全線整備は、南部地区の安全・安心なまちづくりに大きな効果をもたらすと考える。

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
62	継続	高岡	若林東町上り戸（六ツ辻）交差点の改良	<p>当初、上り戸交差点は、「若林駅周辺土地区画整理事業」において事業計画地区内であったが、諸事情により事業計画地区外とし別事業で進める事とした。</p> <p>しかし、いまだその計画については示されてはならず、土地区画整理事業・三河線複線高架事業やその他周辺道路整備が進み交差点周辺の渋滞が緩和され交通の流れが良くなっても、元々この交差点は変則であるためさらに危険な交差点となることが予想されるため、周辺で進められている事業（区画整理・鉄道高架など）に合わせて、あるいはそれよりも早く交差点改良を要望する。</p>
63	継続	高岡	若林神社前交差点改良及び若林花園線（土地区画整理地区外）の拡張	<p>若林神社前交差点は、北方面からの車の多くが右折し若園地区方面に向かったり、直進先の変形交差点（上り戸交差点）が渋滞するため、先日、名鉄三河線若林駅付近連続立体交差事業により整備された踏切を横断するために右折をするため渋滞や接触事故が発生している。</p> <p>現在、若園地区方面からの往来で若林花園線を使う車が増え交通量が増加しており、通行者や自転車などとの接触や若林花園線の横断のしづらい状況も発生している。</p> <p>また、名鉄三河線高架事業の着実な整備は土地区画整理事業とは関係なく、さらに若林花園線を利用する人たちの増加を誘導するので早期に整備を要望する。</p>

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
64	継続	高岡	県道名古屋岡崎線・県道豊田一色線渋滞・安全対策	この地域で交差する主要地方道路名古屋岡崎線、県道豊田一色線付近の道路渋滞が常に激しい。 その結果、生活道路への車両流入が発生し近隣生活にも影響している。 また、県道豊田一色線沿いの県営外根住宅とメグリア若園店の間について横断禁止の周知活動を行っているが、横断する人が過去を含め何名も亡くなっている。 県と市の対応を要望する。
65	継続	高岡	若林高架側道3号線と既存道路との接合	現在、名鉄三河線若林駅付近連続立体交差事業に合わせ、若林高架側道3号線が設計されているが、市道役場棚田線との接合並びに上田橋の両方の道路幅を考慮すると車・人のどちらも利用がしづらいと考えられるので、計画の修正を要望する。 また同時に、高美町自治区から伸びる市道団地巡回1号線と若林高架側道3号線の歩道部分の接続を要望する。
66	継続	前林	名古屋岡崎線堤本町本地交差点改良	県道56（平針街道）と県道284（知立宮上線）が交差する堤本町本地交差点は、近くに大規模工場がありその周辺には多くの流通業務施設が立地しており、通勤時間帯には激しい渋滞が発生し終日を通して交通量が多い。県においても渋滞箇所として認識されており、過去にも多くの事故が発生し本市も対策が必要な個所として選定している。地域における交通の要所でもあり早期の右折レーン新設による交差点改良が求められている。令和5年度に地元説明も行われており、用地買収・設計を進め交差点改良の早期整備を要望する。

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
67	継続	前林	民間施設跡地を活用した商業施設の立地	前林地域は、平坦な農地を利用した農業と大規模工場を有する工業を併せ持つ地域で、大半を市街化調整区域が占めている。そのため、一定規模の暮らしに関連する生鮮食品店舗が進出できない状態にあり、一方で、流通業務施設等については、関連法に沿って数多く進出している状態にある。この地域に暮らしている住民の生活環境の質を確保し、調和のとれた暮らしやすい居住環境の維持保全を図っていくためにも、地権者、事業者、地元が同意している民間施設閉鎖跡地を活用し、商業施設立地に向けた本市の協力を要望する。
68	継続	前林	都市計画道路西岡吉原線の早期事業化と豊田刈谷線の事業推進	都市計画道路西岡吉原線の早期着工へ向けた事業推進。また、豊田刈谷線愛知県区間、豊田市区間における諸課題を早期に解決し、県と市で情報共有しながら事業進捗を図っていただくことを要望する。あわせて、周辺の市道整備と生活道路に対する安全対策を要望する。
69	新規	前林	市道堤駒場線高丘新町地内の歩道狭さく部分の解消	市道堤駒場線沿い周辺地域は企業進出が進み、交通量が増加している。当該箇所の区間のみ歩道が狭く通学路にも指定されており、安全確保のため狭さく部分の解消を図り歩道の整備を要望する。
70	継続	前林	西の池耐震性の補強、浸食部分の解消と農業用ため池としての機能確保	西の池は本市のため池の中でも耐震面で特に状態が悪いグループに位置付けられており、地域からも平成26年より要望が出されている。隣接する土地が浸食されている状態で、下流域には多くの宅地がある。耐震性の補強と同時に浸食による民地の回復を図り、畑灌のための水源、雨水調整のための機能を考慮しつつ、地域が望む水環境整備の事業方針を示し、早期事業化して頂くことを要望する。

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
71	継続	若園	(都)西岡吉原線道路の整備事業	現在、名鉄高架事業に関連して中根町小沢までの道路整備が進められている。その先にある中根町地内の名鉄三河線踏切～吉原町地内(4-2工区)までの都市計画道路である西岡吉原線の道路整備に向けて、早期事業化を要望する。
72	継続	若園	中根町永山地内の歩道橋設置	都市計画道路西岡吉原線の施工に関して、小沢交差点の歩道橋が撤去される。当道路を横断する児童も多く、将来的な通学路の安全を考慮すると歩道橋が必要との住民希望もあり、最適な位置に歩道橋設置していただくよう要望する。
73	新規	若園	馬の背下細池線の整備	トヨタ車体吉原工場から、県道56号線(平針街道)までの道路には、大型トラックをはじめ、比較的交通量も多いため、拡幅整備を要望する。
74	継続	若園	北中根花園線の通学路整備	北中根花園線の若園中学校に沿った歩道にラバーポールが設置されているが、通行する中学生や交流館を利用するための地域住民も多く、防護柵等及び通学路についてはグリーンベルト等の安全対策を要望する。

【猿投地区】

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
75	継続	猿投台	越戸こども園環境整備	保育におけるこども園の環境整備は、保護者の皆さんに対して安全・安心な保育を提供する上で欠かすことができない。越戸こども園の駐車場整備は、過去から拡充はしてきているが、十分な数に達していない。用地買収を含めて、一日も早い対応を要望する。
76	新規	猿投台	前田公園整備推進	前田公園周辺は宅地開発も進み、人口も増加しており、市民広場条例の位置づけから都市公園と位置づけ、公園としての機能を高めてほしい。現在、問題である借地を市有地とするための諸課題を解決すべきである。これにより民芸館、民芸の森との連携強化により集客が期待できる。地主は寄付意向の考えもあり、前向きな対応を要望する。
77	継続	猿投台	矢作緑地平戸橋周辺整備事業	平戸橋から荒井周辺までの矢作川周辺右岸について一体性を持たせた緑地公園として整備する。猿投台地域会議では、まちづくりビジョンを策定し、地域が主体となって河川敷の整備活動を展開している。行政任せではなく、まさに共働の精神に基づいた市民活動を展開している。河川管理者は愛知県であり、事業をする上での占有許可など煩雑な事務処理も多いので市として公園の位置づけ（公園区域の拡大）をすれば、住民の皆さんの活動が容易になる。特に、平戸大橋下の空間は、現在、地域の皆さんが草刈り等を行っており、せめて広場として環境整備すべきである。
78	継続	猿投台	平戸橋公園・前田公園さくら整備事業	両公園は桜の名所として市民に定着をしている。特に平戸橋公園は、毎年桜まつりを開催し、多くの市民が訪れている。公園の売りである桜は劣化している。何十年後には桜が存在しないことが危惧され、今のうちから整備（植樹等）すべきであり、早急な整備計画を策定すべきである。桜の問題は当地域だけでなく、豊田市全体の課題である。一日も早い豊田市の桜整備も考えるべきである。管理については民芸館であるが、平戸橋公園規模であれば、市の公園担当部局、または猿投支所が行うべきである。

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
79	継続	猿投台	名鉄越戸駅のバリアフリー対策推進	令和4年度に駅前広場、越戸停車場線が整備をされた。本来、鉄道事業者が行うべきバリアフリー対策であるが事業化進展のかけらもない。高齢社会の進行に対応するため越戸駅にエレベーターの設置を市として整備すべきと要望する。過去に3,000名以上の皆さんが設置要望を市長に提出している。
80	新規	井郷	都市計画道路等幹線道路の事業化・早期着工・前倒し早期整備・早期開通	北郵便局から北部の国道419号線の4車線化の早期実現を要望します。四郷町森前・四郷町与茂田・四郷町東畑の交差点の信号に右折専用の矢印信号の設置を要望する。
81	継続	井郷	都市計画道路等幹線道路の事業化・早期着工・前倒し早期整備・早期開通	御船町の大釜地域は、大釜橋が唯一の通路となっており、万が一この大釜橋が崩落した場合は、大釜地域が孤立する。勘八侠線の早期整備を要望する。
82	継続	井郷	布袋池（猿投運動公園内）と水無瀬川の親水公園整備	水と緑のまちづくりのために布袋池（猿投運動公園内）と水無瀬川の水質保全確保と近自然化工法などによる水辺・親水公園化整備とそのための水源確保を要望する。

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
83	新規	井郷	豊田市運動公園内部までの交通アクセスの整備	運動公園までのアクセスとして、おいでんバスがあるが、バス停が公園の外部から500メートルほど離れたところにあり、利用しづらくなっている。公園内部（野球場前・体育館）にバス停を設けて利便性を図る事を要望する。
84	継続	井郷	旧名鉄路線敷を活用した山村振興、観光資源の確保	豊田市に移管された線路敷地の利活用により山村振興、観光資源の再建に取り組むべきことを要望します。
85	継続	猿投	(仮)加納2号橋新設事業(市道加納1号線)	市道加納1号線は、供用開始後15年以上が経過するも、加納川に架橋されている橋は、新設されず現在に至っている。その理由は県河川の拡幅計画に合わせ事業化することであるが、いまだ河川の事業化のめどもなく、現橋梁幅員が2メートルと狭く危険であるため早期の事業化が必要である。
86	継続	猿投	地域の文化財を生かしたまちづくり事業の推進	猿投神社周辺には、平成29年に旧龍性院庭園が国の文化財指定を受け、平成29年～30年で保存活用計画がまとめられた。また令和元年に山中観音堂の文化財指定、令和3年1月に山中観音堂千手観音が県文化財にされた。今後、これらの地域文化財を生かしたまちづくり事業が求められ、棒の手会館のリニューアル事業とともに次期総合計画において整備されることを要望する。

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
87	継続	猿投	国道419号の4車線化事業	本路線は、豊田市中心部と瑞浪市を結ぶ幹線道路であり、近年朝夕には与茂田交差点～亀首児童交差点が渋滞している。現在、四郷区画整理事業に合わせ順次整備するとのことを聞いており、引き続き愛知県に対し早期事業化を求める要望書の提出をお願いする。
88	継続	保見	市道事業化・早期着工・前倒し 早期整備 伊保貝津線の延伸 伊保町～保見町	現在、県道名古屋豊田線が、朝夕の渋滞により地域住民の生活に影響が出ている状況である。伊保町にあるトヨタ紡織はじめ企業従業員の通勤や工場に出入するトラック等による渋滞が発生し、交通事故も増えている。市道整備により県道名古屋豊田線の渋滞緩和と歩車分離が進み、地域住民の安全確保ができる。現在、県道加納東保見線への接続に向けたルート（貝津町～東保見町）で、整備を検討いただいているが、保見町までの延伸を要望する。
89	新規	保見	保見町から伊保町にかけての緑 の外環の廃止	現在、市が定める緑の外環を廃止することを要望する。保見町から伊保町にかけて、指定されている緑の外環は制定された平成30年と比べ、都市事情が変化し、現在では当初目的から外れており、廃止することが妥当と考える。市街地周辺にある都市近郊林や農地からなる環状緑地帯として位置づけられ、生物多様性の保全や都市の景観形成を維持するためとされているが、現在では都市の形成を阻んでいる状況と考える。保見地域の緑の外環は名鉄豊田線浄水駅と愛知環状鉄道保見駅・貝津駅に挟まれた地域にあり、これから本市の都市形成において、開発を進めるべきところであると考え。市民にとって、利便性の高いところを都市開発することは大変有意義である。
90	新規	保見	保見町から東保見町にかけての 土地区画整理事業	現在、本市において進める都市づくりはコンパクト&ネットワークとされている。利便性の高い地域に都市開発をすることが有意義と考え、愛知環状鉄道保見駅周辺を開発することが市が定める駅周辺の開発と合致している。保見町から伊保町にかけて広がる農地は、農業振興農地のため開発をすることが出来ず、農業を継続して行うことを希望する住民は皆無となっている。農業振興政策は現在では当初目的から外れており、開発を進めるべきと考える。保見地域は名鉄豊田線浄水駅と愛知環状鉄道保見駅に挟まれた地域にあり、これから本市の都市形成において開発を進めるべきところであり、この地域を土地区画整理事業で開発することを要望する。

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
91	継続	保見	都市計画道路区間の早期事業化・早期着工 県道豊田知立線 田朶～三好ヶ丘 名古屋豊田線 田朶～亀首	地域内にある都市計画道路の早期事業化を要望する。理由①国道155号及び県道名古屋豊田線の交通量の増大から慢性的渋滞があり、また子供たちを交通事故から守る為。理由②広域交流・都市間交流を支える道路である国道155号が片側1車線であり、日常的に渋滞が発生している。隣接する長久手市、日進市から通勤者の車が流入している。また企業誘致の面からも交通事情が改善されなければ誘致が難しい状況である。市が進める経済都市の成長と安全・安心な街づくりの為には早期事業化が重要である。また県道名古屋豊田線は尾張三河と信州方面を結ぶ伊奈街道（明治以降は飯田街道）と呼ばれ、物流の重要な道であった。豊田市は東西に走る道が少なく、慢性的に渋滞が発生する状況の為、周辺の街が発展できずに、すたれてしまった。③南北バイパスの南バイパスが令和8年に開通が見込まれ、保見地域への車の流入が増加すると考えられる。交通渋滞対策を考える必要があり、早期に対策を要望する。
92	継続	保見	規制緩和 駅周辺の開発許可 愛知環状鉄道 保見駅、貝津駅、篠原駅の周辺の開発	保見地区には愛知環状鉄道の駅が4駅あり、利便性の高い駅周辺の開発許可を要望する。人口減少は中山間地だけの問題ではなく、保見地域においても喫緊の問題となっている。早急に住宅開発をして、人口減少を止めなくてはならないと考えている。豊田市が今後進める駅近居住地域として開発を考えた場合、現在ある規制を外すことなく開発はできない。農業振興農地をどのようにするのか、考えるべきである。
93	継続	石野	中金小学校通学路国道153号線歩行者用信号の設置	中金町日影の国道153号線の信号交差点は歩行者用信号機がない。視線の低い小学校低学年の児童は車両信号機を見落とす可能性があり、国道を横断することで大変危険である。黄色信号で児童が気付かず横断歩道を渡った場合、車両が急いで交差点を抜けようとする車にひかれてしまう可能性がある。中金町、城見町、野口町、中切町の児童が登下校で渡る交差点のため、児童の安全確保と命を守る整備を要望する。

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
94	新規	石野	ラムサール登録湿地である上高湿地の避難所設置	ラムサール登録されている上高湿地において、湿地内では携帯電話の電波のすべてが全キャリアにおいて圏外であり、かつ上鷹見小学校の児童および上高湿地を守る会が年間15回以上湿地保全活動を行っており、近年激しくなっている突然の大雨や落雷が起こった場合に命を守るべき避難所がない。子どもたちや保存会の方の安全・安心を踏まえ活動していく為にも、環境を考慮したうえで、早急に避難所の設置を要望する。
95	継続	石野	市道東広瀬2号線と県道355号島崎豊田線の交差点 横断歩道の設置	令和4年度に下切区長より市道広瀬2号線と県道355号島崎豊田線の交差点に横断歩道設置要望が出されており、令和4年度内に横断歩道設置予定とのことであったが、いまだ設置されていない。通学路にもなっており、車の通行量も増えているため早急に横断歩道の設置を要望する。
96	新規	石野	東広瀬こども園駐車場	下切、石野、勘八地区で転入者の方が増え、それに伴い東広瀬こども園の入園者が増え大変喜ばしい事ではあるが、こども園駐車場の出入り口が一か所しかない為、保護者の皆さんが県道にて待機することが多くあり特に雨の日は普段歩いて登園される方も車を利用され安全・安心の観点から駐車場の整備拡充が必要である。また、現駐車場に隣接する土地は自治区の方が地主の方に頼まれて草刈りをしており、保育園の駐車場として活用してもらってはどうかと提案がある。
97	新規	石野	石野中学校の通学路整備	石野中学校の通学路として、国道153号線中金町JAから力石の中学校までの歩道が大変狭く自転車と歩行者が通学しており、国道を大型車が走行すると風圧で自転車が転倒し場合によっては死亡事故が発生することが考えられる。地域の宝である子どもたちを守るためにも、廃線敷きを利用した通学路整備を主体とし、防災上の避難ルートとしての活用もできる道路整備を要望する。

【松平地区】

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
98	継続	松平	豊田市松平体育館における競技場(アリーナ)への(冷暖房)空調設備の導入	豊田市松平体育館は、若年者から高齢者まで幅広い市民の利用がされているが、地球温暖化の影響により、夏の暑さ対策等が年々深刻化しており、大規模災害時の避難所施設としての環境整備も喫緊の課題であるため、同施設への空調設備の導入を要望する。

【藤岡地区】

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
99	継続	藤岡	藤岡支所周辺道路網整備	<p>藤岡北部および小原地区西部と市街地を結ぶ道路として県道北一色東広瀬線が利用され、その途中まで片側一車線整備が完了しているものの、途中から幅員が狭小となっている。本県道は瀬戸市から豊田市への通勤の利用も多い。</p> <p>しかし、多くの車両は国道419号を利用し、藤岡南部や豊田市街地に移動をするため、道路狭隘部分で渋滞がある。</p> <p>藤岡飯野町交差点の交通量調査を実施し、現状を確認するとともに、幅員の広い市道の新設または現道拡幅を要望する。</p> <p>関連市道：60111 藤岡北一色迫線 60116 藤岡飯野迫線 60327 藤岡飯野駄知線</p>
100	継続	藤岡	藤岡木瀬瀬戸線道路拡幅	<p>藤岡木瀬瀬戸線は、藤岡北部や瀬戸市と、藤岡東部や小原地区を結ぶ道路として、多くの人が利用をしている。</p> <p>また、藤岡地区の上水道の基幹施設である、石飛配水場も本市道を利用して送水・管理をされている。</p> <p>しかし、道路途中から狭隘となっており、一部舗装がされていない区間もある。</p> <p>道路拡幅および路面舗装を要望する。</p> <p>関連市道：60108 藤岡木瀬瀬戸線</p>
101	継続	藤岡	藤岡地域核エリア整備	<p>支所・交流館の合築建替えを中心とした藤岡地域核エリアの整備について、令和4年にアクセス道路の整備を終え、一連の都市再生整備計画事業が完了したものの、以降の藤岡地域核エリアのまちづくりを推進していくための予算および計画が見受けられない。</p> <p>飲食店など商業店舗が減少を続け、子育て世代が他地区へ移り、人口減少、高齢化が加速する現状を看過すべきではなく、支所・交流館始めハード整備完了の節目を好機と捉え、藤岡地区として日常生活を支えるために必要な生活機能を整理し、地域核および居住促進地区としてのビジョンを示す計画の策定ならびに持続可能な賑わい創出と地域資源の有効利用を要望する。</p> <p>また、藤岡支所の南部方面からの利便性向上に向けた国道419号から乗り入れる市道の新設をはじめとした、令和6年6月26日に藤岡地域より要望があった地域核周辺整備に向けた施策の早期実現を要望する。</p>

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
102	継続	藤岡	市道藤岡飯野広瀬線改良整備	市道藤岡飯野広瀬線改良整備は歩道もなく、通学児童や高齢者が交通事故の危険にさらされている。 一部では改良を進めているものの、歩道のない区間も多く残る。また、グリーンクリーンふじの丘建設時の地元住民の約束条件であるため、早期の改良整備を要望する。 また区域内の飯野川に架かる昭和橋の歩道部分が新設した歩道と向かい側にあるため、連続して歩道空間を歩くことができないため、歩道空間の付け替え、もしくは歩道橋の新設を要望する。 関連市道：60110 藤岡飯野広瀬線
103	新規	藤岡	御作こども園遊休地の有効利用	御作こども園は令和4年から休園となり、今後の対応を地元自治区と相談の上、決定していくとしている。 こども園としての利用が見込まれない中、施設としては依然として利用できる状態にあるほか、令和5年には急傾斜地の治山工事も終了しており、今後も有効活用が期待される。 御作小学校の放課後児童クラブは理科室を使用し、備品は理科準備室に保管されているなど運営環境の改善策としての利用も見込まれる。 また子育て施設から高齢者施設としての用途変更なども検討の余地はある。 地域の実情に合わせた公共施設の有効活用を要望する。
104	継続	藤岡南	国道419号バイパスの早期着工	国道419号西中山地内の渋滞緩和のため、早期着工を要望する。令和元年8月24日国道419号4車線化整備促進期成同盟会を設立（4月26日総会において次期事業化個所は東海自動車道豊田藤岡インター西のロータリーから現道419号までと決定した。今後、本庁に要望）
105	継続	藤岡南	県道北一色東広瀬線田茂平地区歩道・横断歩道設置	歩行者の安全確保するため、早期の歩道設置を要望する。 (令和3年4月21日愛知県豊田加茂建設事務所森道路整備課長と伊藤課長補佐、三宅田茂平自治区長始め役員様、鈴木県議と現地視察をした。)

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
106	継続	藤岡南	西中山町辻貝戸交差点改良工事	<p>広瀬工業団地、愛知県緑化センター、昭和の森へ国道からアクセスする市道との交差点で、特に国道南から西広瀬工業団地に向かう右折車両と国道北から通学する児童・生徒の横断が交錯して渋滞が激しくなっている。</p> <p>また、東側高台に新たな住宅団地が販売を開始したことから、今後更に朝夕の渋滞が予想されるので、右折車両信号の設置等早急な対策を要望する。</p>
107	継続	藤岡南	深見常楽交差点県道深見亀首線（北側）歩道設置	<p>国道419号に接続する路線（交差点）は、小・中学校の通学路としての利用をはじめ、高校生の通学やバス停へのアクセスなど、地域に幅広く利用されており、歩道の設置が早急に必要な交差点である。</p> <p>猿投神社方向の道路の片側（団地側）は児童が通学路として通行するもののポストコーンのみの設置となっている。安全向上が図られているものの、強度は無く防護柵としての役割はない。小中学校の通学路でもあるのでガードレールもしくはガードパイプの設置を要望する。</p>
108	新規	藤岡南	西中山町崩ヶ崎浸水対策の対応工事	<p>豪雨が発生すると、住宅地内の道路が一部浸水するため、早期の工事を要望する。</p>

【小原地区】

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
109	継続	小原	山村地域における移住定住に結び付く市営住宅の建設／小原地区	山村地域への移住定住の促進施策は、空き家・空き地情報バンクや2戸2戸作戦宅地分譲事業などを中心に現在実施されているが、空き家の供給不足や宅地分譲の供給不足などから、結果的に移住・定住が進んでいない現状にある。子育て世帯が極端に減少している山村地域の打開策として、小学校区の居住促進地区など地域を限定して小規模な市営住宅（山村地域活性化住宅）を建設し、期限と対象者を限定して子育て世帯の入居を募る、移住・定住施策を強く要望する。
110	新規	小原	和紙のふるさと敷地を切土造成し、遊休農地を盛土造成する／永太郎町	和紙のふるさととは、愛知県所有の敷地に豊田市所有の建物が無償借地で立地されている。愛知県の承諾を得て国道419号に隣接する保安林部分の敷地の測量と地質調査を実施し、今後切土造成の実施に向けて、保安林の解除やその他の諸手続きによって切土造成が可能であるか、また、近隣の荒廃農地の2戸2戸作戦宅地分譲事業地への盛土材として適切な土砂であるかの調査を実施することを要望する。
111	新規	小原	和紙のふるさとの造成敷地に「里の駅」など地域拠点をつくる／永太郎町	小原地域には他の山村地域に比べて象徴的な地域拠点がない。したがって、和紙のふるさと造成敷地の切土造成地に「道の駅」や「防災拠点」、「子どもの学び舎」などを建設し、当該地区の活性化や雇用の創出、地域の農産物の販売など「おばら里の駅」を運営すると共に「和紙のふるさと」や「緑の公園」との相乗的な発展を図ることを地域会議など小原地域住民全体が切望している。
112	継続	小原	川見四季桜の里 災害復旧及び回遊路整備 回遊橋梁整備／川見・雑敷町	川見四季桜の里については、愛知県も積極的に整備を応援して頂ける。令和5年6月2日の豪雨災害によって発生した土砂崩れの災害復旧は愛知県豊田加茂農林水産事務所 森林整備課が工事を施工してくれる。また、それに付随して回遊歩経路の整備と回遊橋梁の整備など田代川の両岸回遊歩道を豊田市が総合的に整備することによって、持続的な観光地として整備することを要望する。

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
113	継続	小原	市道築平川下・小原大草足助線 ／築平・川下・李・鍛冶屋敷・ 小原町	国道419号と県道豊田明智線（小原、足助地区を結ぶ）重要市道であるとともに、観光拠点である四季桜の里と香嵐渓などを結ぶ観光バス路線としての重要性が高い。観光シーズンにおける大型観光バスの通行を前提に地域住民等の車両と安全に対面通行および待避所設置による安全走行に結びつく視距改良・道路改良を引き続き要望する。

【足助地区】

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
114	継続	足助	香嵐溪100年プロジェクトの推進	香嵐溪飯盛山のモミジは、生育環境の悪化や樹勢の衰えがあり、景観の質の維持、向上を図る整備を推進すること。あわせて、通年の観光地化、市民に愛される場を目指し、将来にわたり景勝地として継承されるための仕組みづくりを地域とともに構築すること。
115	継続	足助	山村地域を守る交通システム整備事業	急激な人口減少や後期高齢者の増加、地域バスの乗務員不足が続く山村地域に適応した持続可能な交通システムの確立を要望する。特に令和5年10月から運行本数の増加など改編をした地域バスについては、中間評価も踏まえ効果的な地域バスの運用に加え、地域の生活に欠かせない移動手段を、多様な手段で確保することで、高齢者等交通弱者の自立した生活の支援と積極的な社会参加につなげ、山村地域で暮らすあらゆる人の健康づくりと住み慣れた地域での快適な暮らしを実現すること。
116	新規	足助	特色ある子育て環境構築の推進	少子化は全市の共通課題であるが、この地区は特に小規模小学校が多く、小学校の統廃合はこども園、放課後児童クラブ、親のつながり、スクールバス運行など地域の子育て環境に大きく影響するものである。そのため小規模校の在り方について統廃合ありきでなく、地域の声も良く聞き、子どもにとってあるべき環境を考え、次世代の保護者にもこの地域が選択してもらえる特色ある子育て環境を検討すること。
117	新規	足助	伝統的建造物の保存・活用と足助まちづくりビジョンの推進	この地区の中心エリアは重要伝統的建造物群保存地区に選定され、その修理等には補助金を受けられるなどのメリットがある一方、修理等は厳しい基準に従わなければならない、事実上は除却も許されないなど大変な制約を受けている。このような中、空き家や必要な修理がされない家が増加している。修理等補助金枠の増額や地域団体等が実施する事業等への支援をすること。また、市が所有する伝統的建造物の整備を行い、保存・活用を積極的に推進し、このエリアを地域の核として再生し、持続可能な地域への転換を図ること。

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
118	新規	足助	公共施設の再生・利用促進	<p>旧足助町では、観光まちづくりのための公共施設（百年草、三州足助屋敷、足助町並み活性化施設など）を多く有しており、合併後は公の施設として整理され、指定管理者が管理運営している。これらの施設は、老朽化が進み、利用者の減少も著しいが、この地区にとって施設が存在する意義は重く、必要な改修等により早期に再生を行い、利用を促進すること。</p>
119	継続	足助	足助支所庁舎新築（建替え）の早期実現	<p>足助支所の新築については、経済状況の悪化から延期されている状況にあるが、施設の老朽化が進み、災害時における拠点施設としては不安が残る状況であるため、早期に計画の再検討・実行に着手すること。なお、計画にあたっては、単なる支所の建替えではなく、これからの人口減少や超高齢社会を踏まえ、複合地域核としての足助地区、山村地域、豊田市全域といった視点からの支所機能の在り方を見出す必要がある。</p>

【下山地区】

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
120	継続	下山	トヨタ自動車研究施設の本格稼働に伴う宅地整備	トヨタ自動車研究施設の本格稼働に伴い3,500人の従業員が働く事になる。地域の人口減少に歯止めをかけるために、従業員を下山地区に呼び込む住宅整備の実現に向けて宅地を確保出来るようにし、関係団体や事業者働きかける事を要望する。
121	継続	下山	三河湖周辺の観光整備	三河湖湖周辺は、下山地区の観光の核となっている。WRCのSS会場にもなっており、世界に向けた放映も予定されているなど、注目を集める事が期待される。今後、アクティビティを中心とした観光に力を入れて行く計画であり、三河湖左岸の道路の整備を始めネット環境や観光環境など三河湖を中心とした観光地としての整備を要望する。
122	継続	下山	通学困難者の定義の緩和と対応	現在の通学困難者の定義では、山村地域の实情にあっておらず、距離は、定義に達していないものの高低差が多い事や、歩道もなく危険な状況。なおかつ集団下校もできず、保護者が送り迎えをしなければならない現状もあり、地域の实情に合わせて現場を把握している校長や支所などに権限を持たせてスクールバスなど实情に合った運用がしやすいようにすることを要望する。
123	新規	下山	地域バスの地域間の移動	現在、下山地区には総合病院に行く交通手段に乏しく、高齢者に足助病院や厚生病院、トヨタ記念病院に乗り継ぎ無しで行くのが困難な状況であるため、地域バスで足助病院に行けるように要望する。

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
124	新規	下山	市道、下山大官屋敷・石坂線の 拡幅	<p>県道作手善夫大沼線において、大沼の街中の道路が狭隘であるが、幹線道路であり交通量が多い。道路の拡幅や歩道整備もできない道路事情から交通事故への危険度も高い。そこで、街中お避けて迂回する必要性があり、市道市下山大官屋敷・石坂線の拡幅はすれ違いも、ままならない状況から生活道としても危険であり道幅の拡幅等の対策が必要であるため車両、歩行者の安全確保の両面から必要であるため、道路の拡幅を要望する。</p>

【旭地区】

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
125	継続	旭	笹戸温泉の再活性化	愛知県下最古の笹戸温泉は、以前5店舗以上あった宿泊施設は現在では0店舗となり飲食店が1店舗と衰退化が進んでいる。2026年に開催が予定されているアジア競技大会のカーン一競技開催予定地となっていることから、旭地区の玄関口である笹戸地域の再活性化の取組がなされることを要望する。また近年は他の温泉地などで、廃業施設等への不法侵入や不審火が発生していることもあり地域の安全づくりは喫緊の課題であると考えます。
126	継続	旭	定住対策の促進	旭地区の過疎化対策として、市営住宅を山村活性化住宅として活用しやすくしたことは、一定の効果があったと認識している。地域で空き家バンクの発掘が困難な状況にある中で、定住対策を進めて行くためにも、土砂災害特別警戒区域の指定に基づき使用制限されている杉本住宅4戸の活用に向けた調査の実施を要望する。あわせて、新たな山村活性化住宅の建設を要望する。
127	継続	旭	観光における旭高原元気村の拠点化の推進	今年も世界ラリー選手権が開催される。地域経済を活性化させるため、観光業等の振興を図る必要がある。旭高原元気村は、観光拠点施設として認知されているが、施設が老朽化して利用者が減少傾向にある。キャンプ施設の一部改修など利用者増加の取組も行われているが、元気村施設全体の老朽化は進行しており、施設の再整備も含め、観光資源の活用による更なる活性化を図ることを要望する。
128	継続	旭	県道豊田明智線小渡交差点改良工事	小渡町は、旭地区の地域核として公共機関・経済機能が集約された地域であり、地域を縦断する県道豊田明智線は、地域住民や通過車両にとっての主要道路として利用されている。中でも小渡交差点は、道路幅が狭くボルトネック形状となっており、歩道幅も狭いため、往来する車両と歩行者との距離が近い。現在、ダムの残土運搬による大型車両の往来が増加している。今後、浅谷トンネルの開通による交通量の増加も懸念されるため、早急な対応が必要である。

【稲武地区】

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
129	新規	稲武	稲武市街地から大井平公園の一体整備	稲武地区の拠点施設道の駅「どんぐりの里いなぶ」が令和4年7月にリニューアルオープンし連日にぎわっている。稲武地区では道の駅「どんぐりの里いなぶ」から大井平公園までのエリアを線ではなく面として一体整備する計画を持っていたがまだまだ道半ばである。大井平公園ではもみじまつり等のイベントもあり集客ができるようになってきた。道の駅と大井平公園の間には、宿場町の面影をのこす商店街、武田勝頼ゆかりの武節城址、清流名倉川もあるが一体感がない。そこで連携する面整備を行い地域の一体感を創出を要望する。
130	新規	稲武	タカドヤ湿地の環境保全	タカドヤ湿地を守る会の長年の整備により、遊歩道が整備されもみじなどの樹木も整備されてきた。湿地が整備されたため、特に秋のもみじの見物客が増えてきている。湿地の環境を保全するためにもトイレが必要であると考えが電気、水道もない場所であるため環境負荷のかからないバイオトイレの設置を要望する。
131	継続	稲武	どんぐりバスのお買い物バスとしての施行運行	稲武地区では高齢化率が53パーセントを超えている。また、免許を返納する高齢者も増えており、日々の買物にも不便を感じている。 そこで、高齢者の買い物支援となるお買い物バスの運行を検討いただきたい。 現在、定時定路線のバス以外にデマンドバスが運行している。デマンドバスは高齢者の家庭近くにもバス停が設けられているが、事前に予約する必要がある、まだまだ、周知が進んでいない。高齢者の病院需要とあわせて、地域内4路線において曜日ごとにデマンドバスを買物バスとして活用できれば高齢者の支援につながる。また、利用料も通常の200円から当初のキャンペーン期間は100円で運行し、利用に慣れていただく事も必要である。これにより、買い物した荷物は商工会で行っている配達便を利用することもでき、地域で高齢者の生活支援を推進することにつながる。
132	継続	稲武	養蚕製糸事業への支援	令和6年度末をもって「稲武地区養蚕・製糸事業実行委員会」は発展的解消となったが、事業化にはまだまだ継続的な支援が必要であるため今後の支援を要望する。

連番	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
133	継続	稲武	稲武地区における学習環境の確保	<p>少子化が進む中、適正な学校規模の調査・研究が進められているが、稲武地区には小学校1校、中学校1校という学習環境であるため、これ以上の統合は通学距離・時間など負担増になるため、考えにくい。児童生徒にとってより良い学習環境を確保していくため、小中一貫校や中学校の部活動の地域移行も併せ調査研究をすすめ、児童生徒の意見を含め地域の声を踏まえた取組を要望する。</p>